

4月の行事

- 1日 辞令交付式 支所 8:30
- 5日 ①事務局会議 10:00
- ” 第1回合同定例会
- 8日 海星中入学式
- 10日 会計監査 18:30
- 12日 主事連絡会
- 19日 甌ツーリズム推進協議会(里公民館)
- 21日 コミュニティ定期総会
- 26日 助八古道を育む会実行委員会
- 24日 文化協会下甌支部総会
- 28日 地域内清掃

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和6年度4月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村史傳

令和6年4月26日発行

薩摩川内市下甌町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

お灸の講演会

講師 橋本宏樹



去る3月10日(日) 曜日)橋本宏樹講師による「お灸の講習会」があり、講師を含め20名の方が集合されました。橋本講師は瀬々野浦に転入されて3年を経過され4年目にはいられたそうです。

地区の消防団に加入され、コミュニティ協議会の役員にもなられています。

いつもは鍼灸のお仕事をされ、瀬々野浦をベースに主に下甌島内を出張して治療に専らられています。

またてづくりの「にしやま健康通信」A・4サイズ裏表印刷を月2回発行され続けてこられました。

当日は火を使う上での注意点。禁忌事項などを説明され、実際の灸のやりかた、灸点の取り方など教えて頂きました。

ここではすべてを紹介しきれませんので、必要な方は、ご相談されたらいろいろ有益な内容を教えて頂けるのではないのでしょうか。親切に対応して下さいます。

ツクシヤマザクラ

今年もヤマザクラが咲きました。



の頃に咲きました。学校の校庭に植樹されたヤマザクラはピンク色でした。

ところが3年ぐらい前緑がかった花を見て、変種なのかと思ひ鹿兒島大学の先生に画像を送りましたところ「ツクシヤマザクラ」とのことです。甌島にこの種のヤマザクラがあるとは思っていませんでした。専門家といえど花の時期にいないと、こういうこともあるのかなと思ひました。

ツクシが頭につくので九州北部が多いのかなと思ひましたが、沿岸、島嶼(とうしょ)部に多いとの記述がありました。今年谷山を見たらほとんどこの色だったので、こっちの方が多いのかと思ひていたら後からピンクが目立ってきました。

開花は緑が早いのでしょうか。

○関西西山郷友会（会長・中村清元さん）から花見の写真が届きました。掲示板に貼り付けました。ご覧ください。花見には約30名程度の方が4年ぶりの時間を楽しまれたとか。



前年秋に運動会に替わる行事として開催された懇親会に続く第2弾です。掲示板ごとに画像が違いますので散歩がてら見て楽しんで



でも船でセンモン（カメノテ）取いはおられません。好物は自ら獲るといふことですね。

○カツパンコウ
4月12日に撮影しました。
餅と鍋をもってナンパンツォメ辺りに行きたくなりませんか。
イチビヨへ行く人も少なくなりました。

シリーズ13

故郷を深く浅く探る

くさいはなし 中村史傳

昭和三十、四十年代四月の初めの頃になると村中に、ある臭いがたちこめていた。原因はさつまいもの苗床つくりであり、このにおいのもとはここにまかれる糞尿を発酵させた「肥え（ダル）」にあった。この苗床を「もし」または「モシ床」と呼んでいた。

この苗床をなぜ「もし」と呼んだか、意味が不明である。方言辞典で調べても他地方に「もし」に該当する言葉が見当たらない。考えられるのが「蒸（むす）」が訛って名詞となつて「もし」になつたのではないだろうか。つまり堆肥となるカロウガスワ（カラムシ）や落ち葉を敷き付めた上に臭いのもとをまけば発酵が生じて地熱も上がり芋の芽生えが促進されるのである。いわば「蒸し」状態になるのだ。だからこの液は草木肥えの発酵を促す大事な液だったので。

この液そのものも長くおいて発酵させることによつて、当時の私たちが腹中で飼育していた(?)回虫などの寄生虫も死滅させていたのだ。
今はこの地熱上昇のためにマルチシートでおおうのだ。

ともあれ新しく赴任してきた先生の誰かが「ニシヤマ香水」と言ったらしい。このニシヤマ香水のおかげで、今日のわれわれのもとをつくつた「カイモ」となる丈夫な「カズラ」が育つたのだ。年度初めに「クサイはなし」で恐縮です。

令和6年度の区民運動会には、九州情報大学の行事としての参加はありません。

いつごろから来られたのか現時点ではさだかではありません。が、平成26年のコミ協日より10月号には同大学相撲部の皆さんのまわし姿が紹介されています。

初めから引率されていた平田毅学部長から正月に電話があり、本年をもって大学を退職になるので、今年の運動会から大学としての参加は無くなります。との連絡が入りました。(従つて名物のちゃんこ料理は無くなります。)

それでも長いお付き合いでしたので卒業生や希望者を募つてそちらへ個人参加したいとの申し入れがありましたので、日付は9月最終日曜日であることをお伝えしました。

長い間支援を受け続けてきましたので、一抹の寂しさはありますが、すっぱり切れるわけではありませんので続く限り交流したいものです。